ミラクルローター取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。作業をする時は取扱説明書を必ず携帯して下さい。

発行日/1995年(平成7年6月1日) 製造元/(株)宮丸アタッチメント研究所 広島県福山市明神町2丁目2-22 鑑話 0849 (31) 3855

はじめに

この度は、お買いあげ頂きまして、誠に有り難うございます。

この取扱説明書は、安全に作業をしていただくために、製品の正しい取扱方法等について説明しています。ご使用前によくお読み頂いて、お買い上げの製品が正しい使い方で性能を発揮し、かつ安全に作業をして頂くためにご活用下さい。

また、作業中は必ず携帯していただき、わからない事があった時には、取り出して再度お読み下さい。 もし取扱説明書が、紛失や破損したときは、お買い上げの販売店に注文して下さい。 ぶ なお、この説明書は、仕様変更などにより、お買い上げ製品とイラストや説明が一部異なる場合がありますので、ご了承下さい。

安全に関する表示について

■表示内容の説明

取扱説明書や、製品に貼っている警告ラベルにおいて、運転者や他の人が傷害を負ったりする 可能性がある事柄は、下記の様に表示しています。 表示の内容をよく読んで、各注意項目は必ず 守る様にして下さい。

▲ f | 方色 | | 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

▲ 注意: 注意事項を守らないと、けがを負うおそれのあるものを示します。

安全に作業をしていただくために

作業機を安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずこの説明書をよく読んでから、作業を行なって下さい。

ここに記載されている注意項目を守らないで、誤った使い方をすると死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

1. 本製品の使用目的について

本製品は、管理機に装着する作業機で、本製品のみでは作業できません。 使用目的は、畑の耕うん(深耕)作業を目的とした製品です。 使用目的以外の作業に使用したり、改造などは決してしないで下さい。

2. 一般的な注意項目

- (1) 全 答告 こんな時には運転しないで下さい。
 - ・過労・病気・薬物の影響・その他の理由で、作業に集中できない時
 - ・酒を飲んだ時
 - ・妊娠している時

(2) 全 生 作業に適した服装を

・はちまき 首巻き 腰タオルは危険です。 だぶついたズボンや上着等 回転部分に巻き込まれやすい服装は大変危険です。

(3) 全 管 告 機械を他人に貸す場合

- ・機械を他人に貸す時、又は他人に運転させる時は、取扱い方法をよく説明し、使用前に取扱説明書を必ず読む様に指導して下さい。
- ・取扱説明書や警告ラベルの内容がわからない人や、子供には絶対に運転させないで下さい。

3. 作業を始める前の注意項目

- (1) 🕰 🛎 🖶 こんな場所では作業をしないで下さい
 - ・ミラクルローターは爪の形状がつきささる様になっているため、根石や木の根の太い物がある所では、絶対に使用しないで下さい。 爪が根石や太根に引掛かった際、管理機が転倒して人が投げ出される場合があり非常に危険です。
 - ・長い藁がある所や、草が長く伸びている所等、爪に物が巻き付いたり、引掛ったり する場所では、作業をしないで下さい。
 - ・ハウス内等で給水管が設置されている所では、爪が給水管を引掛ける恐れがあるので 使用しないで下さい。 どうしても使用される場合は、爪が給水管を引掛けない位、給水管を地中に埋めて 設置して下さい。
 - ・急な傾斜地では作業しないで下さい。 機械の転倒や作業者の足が滑って、機械に巻き込まれる恐れがあり危険です。

(2) 🛕 注意 作業機を正しくセットして下さい。

- ・本機に作業機をセットする場合は、転倒事故がない様にエンジンを止めて平坦な場所 で行って下さい。
- ・ミラクルローターの爪の取り付け方や、管理機へのセットは正しく行って下さい。 間違ったセットをしますと、事故や傷害を招く恐れがあります。 (別紙に記載している、爪の取り付け方・管理機へのセット方法を参照して下さい。)

4. 作業直前の注意項目

- (1) 🕰 🛎 古 エンジンをかける際、まわりに注意
 - ・エンジンをかける際は、主クラッチレバーを「切」、主変速レバーを「中立」にして、エンジンをかけて下さい。主クラッチレバーが"入り"の状態でエンジンをかけるとローターが回転し、巻き込み事故がおこる危険があります。
 - ・作業前には、前後左右をよく確認し、付近に人(特に子供)がいないか、確かめて 作業を始めて下さい。

5. 作業時の注意項目

- (1) 全 危険 してはいけない危険なこと
 - ・作業中は回転しているローター部には、絶対に手や足を近ずけないで下さい。 又、周りに十分注意し、人がすぐそばにいる場合は、作業しないで下さい。
 - ・巻き付いた草やゴミを取り除く際には、必ずエンジンを止めて下さい。 エンジンをかけていますと、クラッチが入った際、爪に巻き込まれる危険があります。
 - ・ハンドルをターンしてのバック作業は、非常に危険ですので、絶対にしないで下さい。

(2) 🏔 🐮 作業する時の注意点

- ・進行方向 前方の邪魔な物を取ったり、休憩等で管理機を離れる場合は、エンジンは 必ず止めて下さい。 急にクラッチが入った際、爪に巻き込まれる危険があります。
- ・ローターを装着したままで、バック(後進)をするとハンドルが跳ね上がり、首等に引掛かったり、回転する爪に巻き込まれる危険があるので、バック(後進)はしないで下さい。
- ・ハウス等で作業をする場合、管理機にミラクルローターを取り付けた状態での出入りはしないで下さい。ハウスに出入りする際、爪が入り口のパイプや木枠に引掛かる 恐れがあり危険です。
- (3) 【操作上の注意】こんな点に注意して操作しましょう。
 - ・ミラクルローターの作業速度は、35回転~80回転で作業して下さい。 低速(35回転以下)や高速(80回転以上)で使用すると機械の破損等思わぬ事故 が発生する危険があります。
 - ・ターンする場合は、爪を深く入れたまま、サイドクラッチを使用しないで下さい。 管理機に負荷がかかりすぎる場合がありますので、速度を落とし、抵抗棒を地中より 上げて、無負荷の状態でターンして下さい。
 - ・ミラクルローターには、シャーピンが付いていますので、必ず使用して下さい。 もし破損・紛失の場合は正規品をお買い求め下さい。

6. 運搬する時の注意項目

- (1) 注意 移動したり、トラック等への積み降ろしの時は…。
 - ・移動の時や、トラック等への積み降ろしの時は、管理機からミラクルローターをはずし、 必ずタイヤにはめ替えて下さい。

物に引掛った際、思わぬ事故が発生する危険があります。

・ミラクルローターを運搬する時には、爪の形状が特殊なため、トラック等の荷台でころがらない様に、ロープ等で固定して下さい。又、積み降ろしの際、投げたりしない 様注意して取り扱って下さい。

7. 作業機の点検、及び保管の際の注意項目

- (1) 🕰 注意 作業機の点検を行いましょう。
 - ・耕うん爪のゆるみ、がたつきなどがある場合は、増し締めをして下さい。
 - ・ピン等の抜けや破損はないか確認して下さい。
 - ・抵抗棒等の部分に、異常はないか確認して下さい。
 - ・その他異常を感じたら、最寄りの販売店へ問い合わし、正規部品をお買い求め下さい。
- (2) 🛕 注意 けがのない様な所へ保管しましょう。
 - ・ミラクルローターは、子供がさわったり、けがをしない様な所へ保管して下さい。

ミラクルローター(B) 取扱説明書

品番 98612-4023-0

用 途

- ・ 畑の耕起作業
- ・ ハウス内などの深耕作業
- ・ 傾斜地での耕起作業

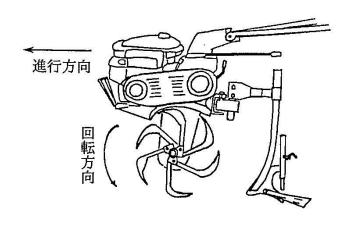
特 徴

- 1. 特殊形状の爪は土を反転して、畑をよみがえらせます。
- 2. 特殊形状の爪は土へのくい込み性能にすぐれ、又土のぬけが良いため、低馬力の管理機でも幅広い深耕作業ができます。
- 3. ハウス内の耕起作業など隅々までスムーズに深耕作業ができます。
- 4. 固い圃場や柔らかい圃場でも抵抗棒の調節により、深耕作業·整地作業 ・畝くずし作業が楽に行えます。

仕 様

耕転巾	1			110cm
□ <i>b</i> /⊠			内	40cm
ローター径			外	45cm
抵	抗	棒	付	

ミラクルローターの取り付け方



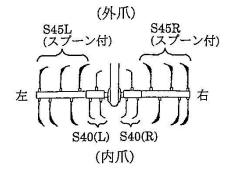
(Point)

本機にミラクルローターを取り付ける場合、ミラクルローター本体に R.L. のシールが貼ってありますので、左図 ①の様にハンドル側から見て正しくセットして下さい。

ミラクルローターの爪取り付け方

図 ②

企 進行方向



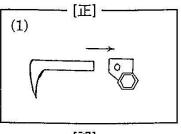
(Point)

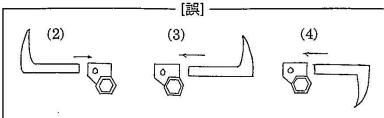
爪は図②の様に全て内側に向 けて取り付けます。

内爪はS40の爪がR·L各3本 外爪はS45(スプーン付)の爪が R·L各6本となります。

(図②はハンドル側から見た図です。)

図 ③





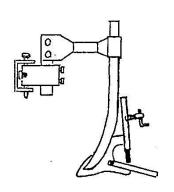
(Point)

爪の差し込み方は図③の(1)が正しい差し込み方です。

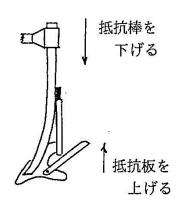
(2) · (3) · (4) はまちがいです。

抵抗棒の使用方法

図(A)

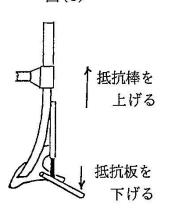


・抵抗棒を本機に取り付け る場合は図(A)の様に取り 付けて下さい。 図 (B)



・硬い圃場や深耕をする場合は、図(B)の様に抵抗棒を下げ、抵抗板を上げれば爪は深く入ります。

図(C)



柔らかい圃場や畝くずし、整地作業の場合は図(C)の様に抵抗棒を上げ、抵抗板を下げればスムーズに耕転できます。